

学報

2017年9月 Vol. 721



インフラミュージアム設置記念式典を開催

ESL プログラム事前語学研修の修了式開催	0 1
2017年度留学生センター日本語・日本文化研修留学生の日本文化研究発表会を開催	0 2
オープンキャンパス2017を開催	0 4
岐阜大学生チームが「C'SPACE2017の缶サットコンテスト」で優勝	0 6
忠北大学医学部-岐阜大学医学部学生交流プログラム10周年記念式典を開催	0 7
岐阜大学附属病院「キッズサマースクールを開催」	0 8
インフラミュージアム設置記念式典を開催	0 9
岐阜大学生チームが「アジアブリッジコンテスト2017」美観部門で優勝	1 0
「International Symposium on Soil Management for Sustainable Agriculture 2017」を開催	1 1
叙位・叙勲	1 2
表彰受賞者	1 3
産官学連携の実施状況	1 4
メディア掲載一覧	1 6
主要日誌	2 1
人事異動（学内限定）	2 2

ESL プログラム事前語学研修の修了式開催

2017 年度から新たに、カナダ・アルバータ大学 ESL(English as a Second Language)プログラムを開始した。

本プログラムは、グローバル推進本部が企画・実施する全学の学生が参加可能な事業で、岐阜大学でのおよそ2カ月の事前語学研修とカナダのアルバータ州、エドモントンに所在するアルバータ大学での3週間の語学・異文化理解研修から構成される。

初年度である今年度は、教育学部2名、地域科学部1名、医学部2名、工学部7名、応用生物科学部18名の全30名の学部学生が事前語学研修を修了した。事前語学研修は、外国人留学生のティーチングアシスタント9名にも手伝っていただいた。

8月3日(木)には、このプログラムの事前語学研修の修了式および留学前の歓送会が開催された。このうち29名が、8月6日(日)にアルバータ大学へ、1名が他のプログラムであるオーストラリア、グリフィス大学へのサマースクールに出発する。

アルバータ大学で学生たちは、3週間にわたり語学研修・異文化理解の授業や様々なアクティビティを体験し、そのすべての日程をホームステイで過ごす。

本学は、学生たちが本プログラムを通じて、語学能力はもちろん、異文化理解を通じた他者への思いやりや敬意、コミュニケーションが完全に取れない状況などの困難に立ち向かい、それを乗り越えることから、自立的に物事を考えそれを実行する能力を伸ばすことなどを期待し、彼らを送り出す。

3週間、安全に配慮しつつも、能動的で有意義な短期語学研修を学生たちが過ごしてくれることを期待する。



修了式後、関係者全員での一枚



出発前の最終ミーティング

2017 年度留学生センター日本語・日本文化研修留学生の日本文化研究発表会を開催

留学生センターは、8月6日（日）、サテライトキャンパスにおいて、日本語・日本文化研修留学生（以下日研生）による日本文化研究発表会（修了論文発表会）を開催した。

日研生は、毎年10月から翌年8月までの約1年間、大使館推薦や大学推薦の国費外国人留学生として、また本学学術交流協定校からの留学生として岐阜大学に留学し、主に日本語と日本文化について学び、その集大成として修了論文を執筆する。論文のトピックは留学生が興味のあるものを選び、教員の指導を受け、岐大の日本人学生が務める論文チューターのサポートを受けながら論文を完成させる。

今年の日研生は第16期生で、韓国、スウェーデン、タイ、中国から本学に留学している4人が発表を行った。

当日は、本学教職員、学生、留学生の他、一般市民の皆様もご来場した。日研生たちは、日本の文化や日本と自国の文化的な比較等各自が設定したテーマについて、各自が作成したパワーポイントを使用しながら発表した。フロアからの質問にも誠実に答え、日頃の学習や研究の成果を十分発揮した。

日研生は、8月22日（火）に行われる修了式に出席し、その後帰国する。帰国後は、それぞれが所属する大学に復学し勉学に励む。本修了生には、本学大学院や他大学大学院に留学や就職のため再来日する学生が多数いる。成長した彼らとの再会を期待している。

発表者及び題目は次のとおり（発表順）

○シリワット・コッチャコン（タイ）

「日本人女性とタイ人女性の化粧意識・行動の比較」

○モーロッパ・エミル（スウェーデン）

「北欧人の行動様式 －「ヤンテの法」とは何か－」

○許 竣碩（ホ ジュンソク・韓国）

「韓国人の日本認識について －姜沆（カンハン）の『看羊録』を中心に－」

○梁霄（リョウ ショウ・中国）

「日本のあいさつ語の特徴及び日中あいさつ語の比較」



日本とタイの化粧品についての発表



「ヤンテの法」についての発表



あいさつ語についての発表



日研究生と論文作成をサポートした論文チューターの集合写真

オープンキャンパス2017を開催

8月8日(火)、9日(水)、10日(木)に、オープンキャンパスを開催した。台風5号の影響で開催が心配されたが、3日間を通して6742人の参加があり、盛況の内に終了した。

各学部では、学科(課程)の紹介、模擬授業、体験実習、施設見学や入試説明などを実施し、各学部の特色を紹介した。

また、学生スタッフによる、キャンパス案内企画や、岐阜大学生とのトークコーナー等、様々な催しが行われ、岐阜大学の魅力が伝えられた。

オープンキャンパスに来た高校生の中には「高校の授業ではできない専門的な体験ができてよかった。」「高校とは違い、キャンパスが広く、様々な施設があり、大学生活が楽しみ。」という声があった。

また、保護者の方からも「子どもには自分で関心をもって大学の勉学に励んで欲しい。大学にはその関心を導いたり、サポート等を期待しています。」という大学に求める期待も大きいことが感じられたオープンキャンパスであった。

多数のご来場ありがとうございました。





岐阜大学生チームが「C'SPACE2017 の缶サットコンテスト」で優勝

7月15日（土）から22日（土）までフランスのタルブで行われた「C'SPACE2017」において「缶サットコンテスト」に出場した工学部知能機械コースのチームが優勝した。

今年の大会は、缶サットを上空 100m からパラシュートで落下させ、落下中の空気のデータ取得、保存、地上局に送信すると同時に、落下中の映像を撮影することをチームのミッションとしていた。

8月8日（火）には、今回の成果について、学生チーム及び指導教員による森脇学長への報告会が行われた。

大会に出場した学生は、「ロケット・缶サット制作を通して設計や加工、プログラミングなどの技術力のみならず、英語のプレゼンテーション力、マネジメント力やチームワークも向上したと思う。缶サットの優勝は嬉しいが、様々なアクシデントがありまだまだ課題も多いので、来年はさらに上を目指していきたい」と報告し、森脇学長は、「社会人になってもこの経験は大切なものになると思う。毎年この大会に出続けられるようこれからも頑張ってもらいたい」と称えた。



受賞報告の様子



集合写真

忠北大学医学部-岐阜大学医学部学生交流プログラム 10周年記念式典を開催

平成29年8月10日（木）に岐阜大学医学部にて、忠北大学医学部（韓国）-岐阜大学医学部学生交流プログラム10周年記念式典が執り行われた。

同プログラムは、平成20年に、当時岐阜大学医学部の教授であった清水名誉教授と忠北大学医学部のキム教授の縁で始まった。以来、隔年で、相互に学生の受入れ及び派遣を行い、この10年間で、派遣された人数はそれぞれ約50名、受入れ側として同プログラムに参加した学生や教員等を合わせると、総交流人数は約250名になる。

式典には、忠北大学医学部から同プログラム創設者のキム教授、日韓交流担当のバン准教授及び学生、岐阜大学医学部からは、湊口医学部長、小倉附属病院長、清島前医学部長、犬塚名誉教授（元学部長）、同プログラム創設者の清水名誉教授及び学生ほか、関係者合わせて約40名が出席した。

岐阜大学医学部を代表して湊口医学部長から歓迎の挨拶があった後、忠北大学医学部を代表してキム教授の挨拶があった。続いて、清水名誉教授から「Exchange 10 Years」と題して本プログラム開始から10周年を迎えるまでの歩み及びその意義について、記念講演が行われた。

また、10周年を迎えた同プログラムは、今回は8月9日（水）～13日（日）の日程で行われ、岐阜市民病院、トヨタ産業技術記念館及び犬山城等の訪問や鶴飼観覧を通して日本の技術や文化に触れ、英語シンポジウム、ミッションフォト等で英語を母国語としない者同士で英語コミュニケーション能力を発揮する等、学生主体の交流を活発に行った。



記念講演の様子



集合写真

岐阜大学附属病院 「キッズサマースクールを開催」

平成 29 年 8 月 17 日（木）18 日（金）、岐阜大学附属病院で「第 8 回キッズサマースクール」が開催され、職員の子ら 35 人が参加した。

キッズサマースクールは、夏季休業中の学童保育の一助となるよう、岐阜大学女性医師就労支援の会が毎年開催しているもので、小学生児童は保護者と一緒に職場を訪れ、病院各部署の協力で行われる多様なプログラムに参加し保護者の職場に触れながら過ごす。

今年度は、ドクターヘリや薬剤部の見学、心肺蘇生体験、軟膏づくり体験、リハビリテーション機器や医療機器の操作体験などを企画し、岐阜大学附属病院医師や学生ボランティアも一緒になって参加した。

参加した子供からは「心肺蘇生のやり方を教えてもらった」「カテーテルの操作がおもしろかった」と感想が寄せられ、たくさんの好評をいただいた。



集合写真



心肺蘇生体験



医療機器操作体験

インフラミュージアム設置記念式典を開催

岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センターでは、8月21日（月）にインフラミュージアム設置記念式典を岐阜大学講堂にて開催した。当日は、学内外から220人を越える技術者・研究者の方々に参加いただき、式典を開催した。

本学では、内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」の一つ「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」において、「使いたくなるSIP維持管理技術のMEネットワークによる実装（略称：岐阜大学SIP実装）」という研究課題で活動している。このインフラミュージアムは、この研究課題の助成を受けるとともに、文部科学省及び有志企業の協力を得て完成したものである。

この施設では、維持管理技術者を育成するために、プレストレストコンクリート（PC）橋、鋼橋、トンネル、盛土の建設過程が学べる構造物モデルを構築し、ME養成講座、大学院インフラマネジメントリーダー育成プログラム（平成29年度より開始）における維持管理技術者の育成に役立てるとともに、SIPのインフラ維持管理・更新・マネジメント技術で開発されている点検技術の検証に役立てるものである。構造物モデルでは、1950年代～現在までの数多くの構造技術を、凝縮したモデルに組み入れて維持管理教育に配慮している。

式典は沢田センター長の挨拶から始まり、森脇学長や来賓の方々の挨拶に続いて、沢田センター長よりインフラミュージアムの概要説明が行われ、最後に國枝教授による協力企業紹介が行われた。

その後、インフラミュージアムの除幕式と見学が行われた。除幕式では森脇学長、野々村工学部長、沢田センター長及び来賓の方数名による除幕が行われ、銘版が披露された（写真-1）。続いて、220名を超える参加者により、インフラミュージアムの構造物モデルの見学が行われた（写真-2～4）。



写真-1 除幕式



写真-2 鋼桁端部モデル



写真-3 PC橋モデル

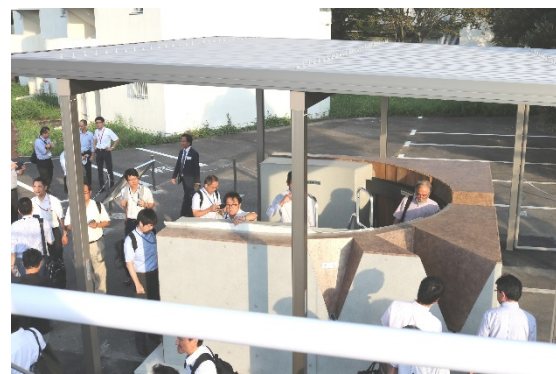


写真-4 トンネルモデル

岐阜大学生チームが「アジアブリッジコンテスト 2017」美観部門で優勝

7月15日(土)から22日(土)まで台湾で行われた「アジアブリッジコンテスト 2017」においてに出場した工学部社会基盤コースのチームが「美観部門」で優勝した。

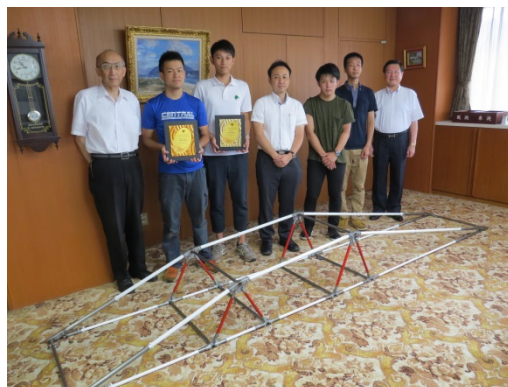
今年の大会は、架設部門、構造部門、美観部門、プレゼン部門とそれらを総合した総合部門を競い合い、学生チームは惜しくも総合部門での優勝は逃しましたが、学生チームの橋のシンプルな構造のみならず、塗装の配色と鋼材自体の光沢を用いた配色が高く評価され、橋梁の美しさを競う「美観部門」において優勝し、アジア大会一美しい橋に選ばれた。

8月23日(水)には、今回の成果について、学生チーム及び指導教員による森脇学長への報告会が行われた。

大会に出場した学生は、「最初は橋を組み立てることに12分30秒ほどかかっていたが、組み立て順番等を工夫をすることによって、コンテストでは5分48秒で組み立てることができた」と報告し、森脇学長は、「実際に設計することは良い経験である。アジア大会一美しい橋の技術を後輩へ指導していき、これからも頑張ってもらいたい」と称えた。



受賞報告の様子



集合写真

「International Symposium on Soil Management
for Sustainable Agriculture 2017」を開催

大学院連合農学研究科（博士課程）は、8月28日（月）～30日（水）に連合大学院研究科棟にて International Symposium 2017 を開催した。今回のテーマは、「Soil Management for Sustainable Agriculture」とし、外国人研究者16名（中国、インドネシア、ベトナム）のテーマ発表及び4名の基調講演を行った。

初日の28日（月）は、千家正昭研究科長の挨拶、鈴木文昭理事（国際・広報担当）の歓迎メッセージの後、岡山大学等の研究者4名による基調講演や外国人研究者16名による土壌管理における課題と最新の研究成果を発表し、質疑応答を含め活発な意見交換を行い、より深い研究討論を行った。

なお、この様子は静岡大学及びスブラス・マレット大学（インドネシア）にテレビ会議システムで配信された。

29日（火）には本研究科学生、水環境リーダー育成プログラム学生、修士課程学生25名のポスターセッションを行い、研究成果を発表した。特に、国費外国人留学生は、優先配置特別プログラムによる受入れであり、教育・研究指導の進捗状況の把握も含んでいる。審査の結果、優秀発表学生4名に千家研究科長がポスター賞を授与した。シンポジウムには59名の参加があり、大変盛り上がった。



シンポジウム参加者全員の集合写真

30日（水）は、海外の研究者17名及び大学の教職員8名が Study Tour として、岐阜県の谷汲池の貯水施設（協力者：揖斐農林事務所）と徳山ダム施設（協力者：水資源機構）の視察を行い、周辺地域の治水事業の現状と自然環境保全の重要性について理解を深めることができ、有意義なツアーとなった。

なお、このシンポジウムは岐阜観光コンベンション協会の支援を受けて運営した。



谷汲池の視察



徳山ダムでの記念撮影

叙位・叙勲

元本学職員に対し、次のとおり叙位・叙勲があった。

故 名誉教授（元農学部教授） 西川浩三氏
正四位 瑞宝中綬章（平成29年8月13日）

表彰受賞者

The International Conference of Advance infomatics:Concept, Theory, and Application
Best Paper Award 受賞

受賞者：深井 英和 工学部助教

業績名：The International Conference of Advance infomatics:Concept, Theory, and
Application Best Paper Award

受賞日：平成29年8月17日

第20回公益信託エスペック地球環境研究・技術基金 エスペック環境研究奨励賞 受賞

受賞者：勝田 長貴 教育学部准教授

業績名：エスペック環境研究奨励賞

受賞日：平成29年8月25日

IEEJ Industry Applications Society Distinguished Journal Paper Award 受賞

受賞者：伊藤 和晃 工学部准教授

論文名：Use of MEMS Inertial Sensors for Performance Improvement of Low-cost Motion
Control Systems

受賞日：平成29年8月25日

産官学連携の実施状況

○共同研究

(平成29年8月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
工学部	松村 雄一	マツダ(株)
応用生物科学部	酒井 洋樹	日本全薬工業(株)
工学部	速水 悟	(株)セイノー情報サービス
応用生物科学部	森部 絢嗣	(株)ファーマーズ・アイ
工学部	瀬瀬 守	MeijiSeika ファルマ(株)
応用生物科学部	稲垣 瑞穂	日本水産(株)
応用生物科学部	矢部 富雄	日本水産(株)
応用生物科学部	長岡 利	(株)東洋発酵
応用生物科学部	嶋津 光鑑	マイクロアルジェコーポレーション(株)
応用生物科学部	光永 徹	岐阜県産業技術センター・アピ株式会社長良川リサーチセンター
工学部	古木 辰也	(株)天野工業
工学部	仲井 朝美	エーイーテック(株)
応用生物科学部	矢部 富雄	(株)真誠
工学部	加藤 邦人	アイシン・エイ・ダブリュ(株)
応用生物科学部	中村 浩平	大垣市・岐阜高専
応用生物科学部	島田 昌也	(株)明菱
応用生物科学部	光永 徹	ヤマガタヤ産業(株)
工学部	速水 悟	岐阜県情報技術研究所
生命科学総合研究支援センター	近江 靖則	自然科学研究機構分子科学研究所
生命科学総合研究支援センター	近江 靖則	自然科学研究機構分子科学研究所
応用生物科学部	矢部 富雄	岐阜県産業技術センター・一丸ファルコス(株)
大学院連合農学研究科	中野 浩平	岐阜県水産研究所

○受託研究

(平成29年8月契約分)

部局名	研究代表者	企業等名
医学系研究科	森重健一郎	東京大学
応用生物科学部	渡邊 一弘	DS ファーマアニマルヘルス(株)
研究推進・社会連携機構生命の鎖統合研究センター	安藤 弘宗	京都大学
応用生物科学部	猪島 康雄	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 常在疾病防除技術開発コンソーシアム
応用生物科学部	二宮 茂	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 AI（周年親子放牧）コンソーシアム

メディア掲載一覧

○新聞

(平成29年8月分)

掲載日	新聞名	内容
8月1日	朝日	ウミウ 感染症広がる 鵜飼い中止・休業の地域も ～応用生物科学部 柳井徳磨 教授～
8月1日	岐阜	◎研究室から大学はいま：VR 性能向上へ 人間を研究 ～工学部 電気電子・情報工学科 木島竜吾 准教授～
8月2日	岐阜	着物で河原町スイスイ 立ち乗りバイクをレンタル ～地域科学部 1年 藤田夏未さん～
8月2日	中日	北方町にキツネ 安藤さん 親子の写真撮影 ～応用生物科学部 土井 守 教授～
8月3日	毎日	「ヤギの胃袋何個？」 親子ら対象 ふれあい教室 ～応用生物科学部～
8月3日	岐阜	鵜飼い、夏の思い出に 岐阜西 LC が障害者ら招待 ～岐阜大留学生～
8月3日	中日	岐阜大学病院なんでも相談週間 ～医学部附属病院～
8月3日	中日	見えない放射線観察 岐阜大企画 親子で霧箱作る ～生命科学総合研究支援センター～
8月4日	中日	◎新聞カフェ：自分なりのルール大切 ～工学部1年 永井綾音さん、応用生物科学部1年 杉山七海さん、地域科学部4年 川脇沙也佳さん、大塚陽也さん、丸山純平さん～
8月4日	岐阜	学校と地域、連携を 岐阜市総合教育会議 子どもの学力向上へ提言 ～教育学研究科 吉澤 寛 准教授～
8月5日	日本経済	水素使う燃料電池システム 工場など向け開発 清流パワーエナジー
8月5日	中日	キモノバイクで GO! 電動で手軽に町めぐり ～地域科学部1年 藤田夏未さん～
8月5日	岐阜	能は「シリアス」狂言は「コメディ」 岐阜大の留学生 魅力に触れる
8月6日	読売	◎病院の実力 岐阜編 114：食道がん 飲酒や喫煙でリスク増 栄養強化療法で合併症減 ～医学部腫瘍外科 吉田和弘 教授～
8月6日	岐阜	身近な生き物 大切にしたい 笠松町で「親子観察会」 ～箕浦秀樹 名誉教授～
8月6日	中日	生放送のスタジオを見学 名古屋の東海テレビで中学生ら ～教育学部附属中学校生徒ら～
8月7日	岐阜	PTA 新聞、深化遂げる 情報伝達能力アップ 子どもと保護者・教

		師つなぐ ～教育学部 須本良夫 教授・同大附属小中学校長～
8月7日	岐阜	◎素描：揖斐川町 Oz 倶楽部 ～応用生物科学部 福井博一 教授～
8月7日	読売	◎ひゅーまん岐阜：被害抑止を研究する森元萌弥さん 獣害対策現場に助言 ～元附属野生動物管理学研究センター特任助教 森元萌弥さん～
8月8日	中日	日本生活 論文を発表 岐阜大の交換留学生4人
8月8日	毎日	伝言板：「手力の火祭・夏」開催 岐阜大軽音楽部ミニコンサート
8月8日	岐阜	◎研究室から大学はいま：子どもの QOL 向上を重視 ～医学部看護学科 杉浦太一 教授～
8月8日	岐阜	「光線力学療法」を可能に 脳腫瘍と食道がん治療で新機器 特殊レーザー県内初の導入 ～医学部附属病院～
8月9日	岐阜	軽妙な落語, 笑い包む JA ぎふ女性部七郷支部鑑賞会 岐阜大生が披露 ～岐阜大落語研究会～
8月9日	中日	講座・教室：市民学習会よみがえれ長良川「岐阜の魚と長良川の今」～地域科学部 向井貴彦 准教授～
8月10日	岐阜	英語キャンプ 日本語は NO 4泊5日, 小中学生挑戦 ～教員を目指す学生ら～
8月11日	中日	介護 育児相談の新拠点 北方町の事業 役場に「つどい」オープン ～医学部看護学科 4年 大塚朋以さん～
8月11日	岐阜	◎ちは先生が見た岐阜人の不思議⑨：少ないうどん屋 外食好きで支出は多い ～教育学部 大藪千穂 教授～
8月11日	中日	科学の面白さ 小中学生が体感 岐阜大でイベント 最新顕微鏡で観察, DNA 鑑定 ～生命科学総合研究支援センター～
8月12日	朝日	「あーぬく」「ずつない」...使ってる? 各務原 小学生が岐阜弁カルタ大会 ～教育学部 山田敏弘 教授～
8月14日	朝日	「命のビザ」寄贈の女性が再会 「千畝の優しさ伝えたい」 リトアニアの留学生 ～岐阜大留学生 トマス・バグドナスさん～
8月14日	岐阜	学生落語 笑わせます! 19,20日に岐阜市で「全国王者決定戦」出場の岐阜大生, 稽古に熱 ～落語研究会～
8月14日	岐阜	最先端科学のぞく 小中学生 光学顕微鏡で観察 ～生命科学総合研究支援センター～
8月15日	岐阜	◎研究室から大学はいま：手術向上へチーム医療推進 ～医学部附属病院手術部副部長 長瀬 清 准教授～
8月16日	毎日	「息絶える仲間見た」 人間機雷訓練受けた鈴木さん 終戦の日

		多治見で講演 ～岐阜大卒業生 鈴木道郎さん～
8月16日	中日	炭素繊維複合材の優れた研究を表彰 3大学と中部の試験場
8月17日	中日	脳腫瘍, 食道がん根治へ レーザー治療法導入 ～医学部附属病院～
8月18日	岐阜	教師への夢 力磨く 志望学生ら 県教委の講座受講
8月18日	岐阜	航空機産業に熱視線 各務原市 大学生が企業見学
8月18日	岐阜	遺伝子の働き 実験で学ぶ 高校生が岐阜大で体験会 ～生命科学総合研究支援センター～
8月18日	中日	あすから学生落語王者決定戦 「鵜飼屋つきみ」さん かける最後の高座 ～落語研究会 大学院2年 林美希さん～
8月19日	中日	◎新聞カフェ: 支援どうすれば@岐阜大 現実知って考えないと
8月19日	朝日	航空産業知って 学生向けツアー 各務原市が開催
8月19日	岐阜	高齢者を疑似体験 岐阜大病院キッズ学校 「手伝い必要」実感 ～医学部附属病院「女性医師就労支援の会」～
8月19日	岐阜	中国訪問, 成長の糧に 大学生ら岐阜市長に決意
8月20日	中日	学生落語家の頂点目指し 岐阜で「てんしき杯」 観客を魅了しま笑
8月20日	中日	日韓医学部の絆 末永く 岐阜大, 忠北大 交流10周年祝う ～清水克時 名誉教授～
8月20日	岐阜	吃音症の人にエール ドリアン助川さん 学会で講演 ～教育学部 村瀬 忍 教授～
8月21日	岐阜	◎教えてホームドクター: 統合失調症の支援 周囲の協力が助けに焦らず, 治療の継続を見守る ～医学部附属病院 塩入俊樹 教授～
8月21日	岐阜	分水嶺 ～地域科学部 向井貴彦 准教授～
8月21日	岐阜	千兵衛さん(岐阜大) 学生落語王者 岐阜市で「てんしき杯」 県勢が初優勝 「地元の意地」 ～応用生物科学部4年 「ながら千兵衛」 こと古澤長流さん～
8月22日	中日	トンネルや橋 実物展示 岐阜大にインフラミュージアム ～工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 沢田和秀 センター長～
8月22日	岐阜	「インフラミュージアム」完成 岐阜大にトンネルや橋の実寸モデル 技術者育成に活用 ～工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 沢田和秀 センター長～
8月22日	岐阜	人間との共生 模索を ツキノワグマ考える講演会 ～応用生物科

		学部附属野生動物管理学研究センター～
8月22日	岐阜	へき地医療の現場見学 郡上市や白川村 県内医学生ら診療所巡る ～医学部学生ら～
8月22日	岐阜	◎研究室から大学はいま：自分だけの「声」を響かせる ～教育学部音楽教育講座 近野賢一 助教～
8月23日	朝日	発掘 街のインスタ映え 岐大生人，地図づくり案内企画 「地元 のよさに気づいた」
8月23日	日本経済	ダイジェスト：岐阜大，地元勤務の教員養成
8月23日	岐阜	16人に奨学生決定証書 十六地域振興財団が授与 ～教育学部1 年 小林大輝さん～
8月24日	毎日	岐阜大野球部員28人 「夏休み寺子屋」指導 ～硬式野球部 部員 とマネージャー28人～
8月24日	中日	遺伝子組み換えを体験 県内外の高校生が岐阜大で専門学習 ～生 命科学総合研究支援センター～
8月24日	岐阜	理科好き小学生ものづくり熱中 大学生指導「ピタゴラ装置」製作 岐阜市で2泊3日のキャンプ
8月24日	中日	オムニバス：岐阜大学がん患者サロン
8月24日	中日	夏休み終盤...宿題追い込みだ～ じっくり疑問解消 徹明さくら小 岐阜大生に教わる ～硬式野球部 部員とマネージャー28人～
8月25日	岐阜	◎ちほ先生が見た岐阜人の不思議⑩：タクシーはどこ？ 深夜の運 転代行は多い ～教育学部 大藪千穂 教授～
8月25日	朝日	投手三本柱に安定感 岐阜大 ～硬式野球部～
8月25日	中日	「実りある成果持ち帰る」 訪中団が岐阜市長に抱負
8月25日	中日	子どもの学力向上へ協定 羽島市と文溪堂，岐阜大教育学部 ～教 育学部 池谷尚剛 学部長～
8月25日	岐阜	小中学生 学力向上へ協定 羽島市，岐阜大教育学部，文溪堂 教 材データ，指導に活用 ～教育学部 池谷尚剛 学部長～
8月26日	朝日	熱気ど真ん中 ～岐阜大学よさこいサークル騒屋～
8月27日	岐阜	◎サンデーコラム：遺伝病を事前に修復 受精卵への治療 ～医学 系研究科 國貞隆弘 教授～
8月27日	中日	ドリブルの極意 100人に熱血指導 羽島 元Fリーグの岡部さん ～教育学部附属小学校6年 薫田想来さん～
8月28日	中日	◎ファイト：岐阜大硬式野球部初の医学部生 勝ち点へ貢献誓う ～硬式野球部・医学部2年 野本峻二朗さん～
8月29日	岐阜	◎研究室から大学はいま：児童生徒のけが，密に共有 ～医学部看

		護学科 西本裕 教授～
8月30日	中日	農業土木などで県と岐阜大協定 技術開発や人材育成 ～応用生物科学部 杉山 誠 学部長～
8月30日	岐阜	岐阜大応用生物科学部, 研究で連携へ 愛知県農林基盤局と協定 ～応用生物科学部 杉山 誠 学部長～
8月31日	朝日	医学部特集: 医師として身につけたいのは, 生涯にわたって学び続ける力 ～医学教育開発研究センター 鈴木康之 教授～
8月31日	朝日	脳腫瘍に新療法採用 岐大病院, 東海3県で初 治療薬+レーザー光 ～医学部附属病院～
8月31日	中日	危険の判断 自分で 昼休みに地震発生想定 笠松小で「命を守る訓練」 ～清流の国ぎふ防災・減災センター 村岡治道 特任准教授～
8月31日	日本経済	大学内保育所 地域にも開放 岐阜大など全国で相次ぐ
8月31日	岐阜	創作人形劇, 笑顔運ぶ 岐阜大生が子どもに披露 ～岐阜大児童文化人形劇研究会「コロッポ」～

○テレビ・ラジオ・雑誌等

(平成29年8月分)

放送日	番組名	内容
8月7日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 「清流の国ぎふ防災・減災センター」の取り組みを紹介 清流の国ぎふ防災・減災センター 杉戸真太 教授
8月9日	テレビ東京 5:45～7:05 「ニュースモーニングサ テライト」	・微生物燃料電池という技術について ・微生物燃料電池を用いて廃水からエネルギーとリンを同時に回収する新技術について 流域圏科学研究センター 廣岡佳弥子 准教授, 市橋修 特任助教
8月21日	FM わっち 12:41～13:00	「岐阜大学からこんにちは」 教育学研究科教職実践開発専攻 (教職大学院) 田村知子 准教授 教職実践開発専攻教職実践開発コース 学生1年 山口美穂さん (現職教員)
8月28日	ぎふチャン 17:40～ 「お茶の間ステーション 2時6時」	『減災ラジオ』 防災週間 (災害対策等) について 清流の国ぎふ防災・減災センター 小山真紀 准教授

主要日誌

月 日	行 事 名
8/ 8	オープンキャンパス(10日まで)
24	関西大学派遣研修報告会 業務改善へ向けた若手職員と補佐の役割研修とフォローアップ研修
25	事務職員の在り方教育職員合同SD研修
28	国際会議(連農) げんさい楽座(サテライト)
30	イノベーションジャパン2017(東京ビックサイト)